



### 予算の解説

48年度の行政のあり方を示す市の予算は、去る3月定例議会（3月12日から23日まで）で、一般会計36億2,220万円（47年度より9億2,451万円増）、水道事業会計2億5,098万円（6,069万円増）、国民健康保険特別会計5億722万円（8,520万円増）、特殊道路等整備事業特別会計3,309万円（1,887万円増）、合計44億1,349万円（47年度当初予算合計33億2,422万円に比べて10億8,927万円増）、と決められました。

ことしは、昨年の集中豪雨による大きな被害を受けさらにきびしい財政状況にありながらも、行政水準をさげないよう重点目標を災害復旧と防災対策、道路の整備、教育施設、生活環境の整備においた積極的な予算となっております。

おもなものは、災害復旧事業費1億2,688万円（前年の約11.5倍）。かけずれ防災対策3,670万円。道路整備事業に3億1,000万円。霧ヶ池中学校新築、北陵中ホールなどの小中学校施設に1億8,087万円。大篠公民館新築、集会所などの社会教育施設に5,225万円。地方改善事業に5億6,228万円。児童保育所新築、児童公園整備などに5,549万円。老人、ゼロ歳児医療などの福祉事業に1億2,340万円。ゴミ処理場のために5,700万円。水道事業では新設拡張整備事業として1億9,208万円。新庁舎建築費の支払に8,734万円などです。

農林業振興については、農林業振興地域の指定と整備計画をたて、農林業振興関係費として3,496万円。南国市農協と協力して農村施設等総合整備事業8億3,000万円を実施する計画です。

また、新しく設立された南国市土地開発公社の事業費として18億円が認められました。

### 一般会計

36億2,220万円

前年度にくらべて9億2,451万円、約34.3%と大幅にふえています。

歳出のうち義務的な経費といわれる人件費、生活扶助費、公債費（借入金の支払）が大きく、あわせて15億5,662万円と一般会計の予算のうち約42.98%を占めています。また、ことしは、人件費や物件費などの経費を極力節減し、行政水準をおとさないという姿勢で災害復旧そのほかの建設事業を重点的にとりあげたため15億6,309万円、総予算額に対して43.15%と昨年の建設事業費37%からみると大きく伸びています。

しかし、年ごとに義務的経費や福祉対策費はむしろ伸びるのにくらべて、市税や交付税などの一般財源は伸びが少なく、その上に台風10号以来のたび重なる災害で大きな打撃を受け、46年度末での赤字も800万円あまりと赤字解消も着々と進んでいるものの、一方市債（借入金）13億7千万円、債務負担行為（公共事業のために他の団体が借入れしたものの債務を市が保障したり負担するものなど）が14億円あまりあり、まだま

だ苦しい内容です。

### 歳入

ことしの歳入面での大きなものは、国庫の支出金10億1,059万円（47.4%増）地方交付税8億1,800万円（16.5%増）市債5億4,820万円（4.7%増）市税5億6,477万円（19.2%増）などです。

市税などの自主財源（市のみの収入）は11億9,960万円、33.13%と昨年25.6%にくらべると伸びてはいますが市税の伸びが19.2%と低く不定定な伸び方だといえます。

国、県の補助金、地方交付税、市債などの依存財源は24億2,259万円、66.87%と予算の大部分を占めています。しかし、国はもともとつと金を出すべきだという声が強いです。

### 歳出

市民サービスに使う経費をみますと、人件費、扶助費などの消費的な経費が49,94%、建設事業などの投資的な経費は50,06%となっています。

また、民生費（社会福祉、生活保護、保育所、母子社などに使うもの）15億8,509万円、43.7%。環境衛生などに使う衛生費も昨年にくらべて78%と大きく伸び、あわせて全体の約半分位となっています。苦しい財政の中から、特に災害復旧や道路建設整備、福祉増進のために力を入れていることがわかります。

### 水道会計

2億5,098万円

水道事業会計は、47年度から地方公営企業法の適用を受け、水道局として機構を整備し、独立採算性をとり経済性を考えた合理的な事業運営を行っています。計画通り順調に運営されています。

ことしは、都市計画に伴うもの、また、地下水のよごれがさらにひ

どくなってきていることなど、市民の健康を守るため公害、環境衛生の面からも積極的に取り組む姿勢で、給水戸数を4,500戸（前年度より9%増）市の総世帯数の39%まで給水します。予算額2億5,098万円のうち、1億9,208万円を建設改良事業を行ないます。主な事業は大篠地区の拡張と断水事故を防ぐための工事に……1,000万円。岡豊地区の新設工事に……5,964万円。南部広域新設工事（十市、浜改田、前浜、下島浜、久枝の海岸地帯）に5,925万円。長岡地区拡張工事に……1,133万円。野中地区整備事業に……3,386万円。前浜地区給水工事に……1,500万円。久礼田地区の改良工事に……300万円

歳入は、企業債1億400万円。国の補助金3,084万円。県の補助金4,217万円。一般会計からの繰入金1,174万円。負担金692万円などです。

### 国保会計

5億722万円

国保事業は、現在加入者16,800人。人口の約40%の市民の病気、出産、死亡などの医療給付、また、黒滝、中の川地区の巡回診療車による直接診療事業を行っており、被保険者、医師の協力を得て健全な運営が行なわれています。しかし48年度は、さらに70歳～74歳の老人とゼロ歳児の医療費を無料にすること、全体の医療費の大幅な上昇などが予想され47年度の子算額より8,496万円（約20%）の増加となり、保険税についても全体で4%あがることになりました。歳出のおもなものは療養給付のため……4億5,597万円。療養費として……2,700万円。出産したときの費用のために……180万円。死亡したときの費用のために……120万円。健康な家庭の表彰のために……70万円。納税組合補助金……302万円。

歳入としては、保険税……1億2,916万円。国の補助……3億2,788万円などとなっております。

また、直診勘定として黒滝、中の川地区の人々を直接診察するための費用が101万円見込まれております。

### 特殊道路会計

3,309万円

歳出のおもなものは、高知刑務所の移転にともなって市道八幡輪田線の改良工事を行なうために……1,960万円。前年度事業の不足をおぎなうために……1,199万円。歳入は県補助金……1,160万円。市債その他……2,149万円。

### 土地開発公社

18億円

新しく4月1日に設立された南国市土地開発公社の事業予算で、市の必要とする公民館やグラウンド、都市計画用地などの公共用地を計画的に円滑に先行取得する事業を行うもので、18億円の範囲内で事業を進めてゆくことになりました。

市の予算額 5年間の動き（当初予算）

